

## 第12回 長南町過疎対策検討委員会議事録（要旨）

平成25年8月9日（金）  
庁舎分館2階第一会議室  
18時30分から

出席者 過疎対策検討委員会委員11名 アドバイザー1名

事務局 石橋、小澤

会議資料

- ・“市”の復活 ～定住促進のための第一歩として～
- ・空き家を活用した長南町への定住促進
- ・「過疎対策」等の意見・ご提案のお願い

### 1. 委員長あいさつ（岩瀬委員長）

第12回目の打合せとなります。

9月末の提言書取りまとめに向けて検討をよろしくお願いします。

### 2. 検討・協議の内容

（岩瀬委員長）

前回までの検討結果について各部会より報告をお願いします。

空き家部会のほうから武田さんお願いいたします。

（武田委員）

（資料：空き家を活用した長南町への定住促進）に基づき説明。

前回までの内容に、「空き家提供掘り起こしの活動」と「奨励金・補助金制度の創設」を加えました。

空き家提供掘り起こしの活動では、空き家提供者数を増やすためにパンフレットを作成し、町としての取り組みや空き家提供の奨励金などを記載します。これを区長経由で該当者宅へ配布したり、町外在住者へは、固定資産税通知の際に併せて配布することを検討しています。

奨励金・補助金制度の創設については、空き家バンク登録促進奨励金や空き家利用促進事業補助金など、近隣市町村で取り入れられている制度と同じようなものを行うことを検討しています。

（岩瀬委員長）

この件について、ご質問等ございますか？

(三十尾委員)

たとえば、空き家提供掘り起こしの活動などについて、もっと具体的な手法までは提言に盛り込まないのですか？

(岩瀬委員)

細かい部分の具体的な手法については、町の実施検討の際に検討していただくようにしたいと考えます。

(西田委員)

私は、もう少し細かい部分の実行案についても提言として入れておいたほうがよいと思います。

(岩瀬委員長)

あまり細かい部分まで固定した考え方を提言として提示するのではなく、たとえば例としてこのような手法もあるといった程度で盛り込んでいくことは良いと思います。

事務局は、この細かい施策の方法まで提言することについていかがでしょうか？

(石橋課長)

細かい部分の施策の方法あるいは手法まで提言として提示されても、現段階では、すぐに予算化して実行するといった決断をできるものではありません。

ですが、様々な御意見をいただく中で、実行していけるように検討する材料とさせていただきたいと考えております。

(武田委員)

私は、ある程度の方角性にとどめていたほうが、町が実施する段階での自由度をもたせることができると思います。

(岩瀬委員長)

みなさんの御意見をまとめますともう少し具体的なものまで取り入れていくということにしましょう。

ただし、これは例としてであって、必ずしもこのやり方・手法でなければいけないというものではありません。

(岩瀬委員長)

つづきまして、市の部会を長谷川さんよりお願いいたします。

(長谷川委員)

(資料：“市”の復活 ～定住促進のための第一歩として～)に基づき説明。

大きな変更点として、目的・現状の中で重複していた部分について削りました。開催場所の記載について充実しました。候補地も5つ提示してあります。通行止めにしなくても良いと思います。

地元商店のアピール(商工会など)や地元農家・営農組合の参加、町在住のアーチストや手作り食品の販売又は近隣の人気店を紹介など町民が参加し周辺地域から集客を図ります。

これによって期待される効果は、商店の活性化や空き家店舗への新たな入居者の確保、または、自然環境を生かした生活のアピールができたりすることです。

課題と解決策の部分に写真と地図を加えた形で完成原稿にしたいと考えています。

(岩瀬委員長)

何かご意見等ございますか？

(西田委員)

私は、長南町が近隣町村と比較した場合、特色がさほど出ないのではなかろうかと思います。このことの解決策を盛り込んだほうが良いと思います。

(長谷川委員)

長南の食文化や歴史などについても触れ、市によって掘り起こされればよい方向に行くと思います。

(石田アドバイザー)

長南町の歴史文化と自然というテーマを明確にしておくことが大事であるでしょう。

(岩瀬委員長)

開催場所については、以前より県道を通行止めにして行うことを検討していたが、別の参考として、笠森観音の参道などはいかがでしょうか？

通行止めも容易だと思うし、駐車場も確保できると思います。

(池田委員)

階段のところではできないと思います。また、もし大勢の人が集まるとなると、駐車場も足りないのではないのでしょうか？

(佐久間委員)

町の商店街で行いたいというのは、町中の空き家解消なども検討するなかで、商店街の活性化と抱き合わせる形で行うことにより相乗効果があると思います。

(西田委員)

参加団体として大きな役割を担うであろう商工会の代表として、中橋委員さんのご意見はいかがですか？

(中橋委員)

いまは、商店街は壊滅状態です。今も残っている方々はほんとに少ないです。後継ぎがいなくて、みんなやめていってしまいます。

(長谷川委員)

いま、残って商店を維持しているお店にはいいものがたくさんあります。たとえば、お豆腐を取り扱っているお店などは、スーパーよりもおいしいです。なので、とにかく人をたくさん寄せることによって、そのようなお店を次いで維持していきたいという人が出るかもしれないので、人を集めることが市の狙いです。

(小澤)

現状の空き家バンクの状況について説明。

(長谷川委員)

古民家を求める人は、家族などでも住む方もいますが、家があつて屋根さえあれば住めるといった、アーティストの方々もいます。空き家の有効活用からも、アーティストが住んだり作品と作成したりする場としても活用してもらい、市の開催とともに地域の活性化につながるようなと思います。

(岩瀬委員長)

解決策の部分が政策となってくるとおられますので、記載の方法について修正を加えていただいて、まとめていただきたいと思います。

つづいて、情報発信部会のほうからお願いいたします。

(田島委員)

今の現状は、前回のときに作成していた状態からは大きく変更となったところはございません。もう少し細かな部分について検討しているところですが、今回の会議に間に合わなかったので、資料として準備できておりません。

(白井委員)

前回ホームページの件について提示した際に、項目のみで文章として整理できていなかったのが、現在対応をしているところです。内容については大きく変更はございません。

(田島委員)

前回説明した6つの政策案について、更にもう少し細かな部分まで詰めていきたいと考えています。

(岩瀬委員長)

それでは、情報発信部会については次回までにまとめてください。

(事務局：小澤)

(資料：「過疎対策」等の意見・ご提案のお願い) について説明

メールにて過疎対策について御意見をいただいたので、委員会にご報告しますので、参考として下さい。

(岩瀬委員長)

次期の提言のテーマをアドバイザーと相談して決めてきました。

1. 長南農業のイノベーション
2. 創造型産業の誘致
3. 子育て支援と交流拠点の整備

今後、この3つの課題についても、部会としてわけて検討していきたいと思っています。(部会の委員の割り振りについて検討した)

1. については、三十尾部会長、西田副部長、池田、白井
2. については、武田部長、中橋、長谷川、田島
3. については、森山部長、佐久間、長谷川、白井                      となりました。

(石田アドバイザー)

次回までに何をするのかを決めておいたほうがよいのではないのでしょうか？

(岩瀬委員長)

新たな３部会については、現状や課題などがまとめられるように御意見を出しておいていただきたいと思います。

また、空き家・市・情報発信については、次回までに簡潔にまとめていただけるようにしたいと思います。

次回の会議は８月２８日（水）、午後６時３０分から行います。場所は、分館第一会議室になります。

午後８時３０分 閉会